

# にっせき ぬくもり通信

<http://www.matsuyama.jrc.or.jp/>

Vol.2  
2005年7月1日  
(毎月1日発行)



編集・発行／松山赤十字病院  
〒790-8524 松山市文京町1番地  
TEL 089-924-1111 FAX 089-922-6892

## 地域医療支援病院に 承認されました

事務副部長 松原 隆司



H17年5月23日付けにて愛媛県知事から、「地域医療支援病院」の名称の使用を承認されました。すでに、テレビニュースや新聞などのマスコミにも取り上げられ、ご存知の方もおられると思いますが、患者様へ、その役割などについて説明させていただきます。

### ● 地域医療支援病院ってなに？

地域医療支援病院とは、地域の皆様が安心して医療を受けることが出来るように、「かかりつけ医」と連携し、地域の医療を総合的に支援する病院のことです。したがって当院は、「地域医療支援病院 松山赤十字病院」の呼称になり、急性期医療、専門的な医療の役割を担い、患者様の住む身近な医療機関、すなわち「かかりつけ医」で安心して医療が受けられるように支援する病院になります。

もう少し具体的に説明しましょう。皆様は、「かかりつけ医」を持ちましょう！というポスターを目にされたことはありませんか？「かかりつけ医」とは、一般的にホームドクター、ファミリードクターと言われるもので、ご自分が住んでいるお家の近くや生活圏内に、ご自分やご家族が病気になったときに、真っ先に相談できるお医者さんのことです。「かかりつけ医」に日頃から診療をお願いし、身体の変調・悩み・病気の予防などを気軽に相談できる関係を持つことは、健康管理の上で、理想的です。これまでは、ちょっとした熱、ケガでも「とりあえず大きな病院へ行こう…」とか「日赤に行けば診療料もたくさんあるし安心だ」と考えて、受診される方がたくさんおられたと思います。（日赤病院としては、それだけ信頼していただいているということで、嬉しいのですが…）

地域医療支援病院となると、今後は、初期医療をかかりつけ医が担い、それ以上の高度医療は松山赤十字病院が診ていくというような役割分担となります。したがって、病気が治癒したり、症状がある程度落ち着いたら、当院から元の「かかりつけ医」に紹介状をお書きし、そちらで経過・治療をしていただくこととなります。また、病状が悪化したり、精密検査が必要となった場合には、再び紹介状を書いていただき、当院で診療することとなります。

### ● 患者にはどんなメリットがあるの？

「地域医療支援病院となって、患者にはどんなメリットがあるの？」と思われる方がおられると思います。外来診療での3時間待ちの3分診療の現状を解消するためにも、地域医療支援病院は、重要な位置付けとなります。まず「かかりつけ医」に診ていただき、もう少し詳しい検査、診断が必要と判断された時に、当院に紹介状を書いていただいて受診すれば、適切な診療料を勧めただけですし、患者様を長時間お待たせすること無く、診察もスムーズで、早くなります。もし、入院が必要であれば、すぐに対応できます。

また、紹介状をお持ちになることは、患者様にとって医療費も安くなる場合があります。紹介状を持っているということは、必要な情報を添えていただいているということです。初診時の無駄な検査を省くことができ、負担する医療費も安くなるというわけです。

### ● 全国で地域医療支援病院はいくつあるの？

国は、医療政策として、全国に地域医療支援病院を整備したいと考えています。しかし、その認定基準がなかなか厳しく、全国でまだ100病院に至っていません。愛媛県では、大洲市の喜多医師会病院と当院の2病院しか認定されていません。

当院の理念は「人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。」です。私どもは、今、この地域医療の新しい流れの中で何が出来るのかを常に考えています。これまでのように積極的に紹介患者様を受け入れるだけでなく、出来るだけ日赤病院に来ていただいた患者の皆様で病状が安定した方々は、「かかりつけ医」に紹介しようと努めています。そこで、患者様とその「かかりつけ医」が信頼できる関係になってもらえることを願っています。それによって、地域住民の皆様を地域の種々の医療機関が連携して支え合う理想的な医療供給体制が完成します。

患者の皆様には、「かかりつけ医」と地域医療支援病院の役割を理解していただき、上手に使い分けることをお勧めします。

# 第2回 地域医療連携フォーラム

## 開催のお知らせ

テーマ：21世紀の地域医療連携  
地域医療支援病院を核とした広域チーム医療の展開

### 《開催主旨》

当院は医療の基本目標を地域完結型の医療の遂行と位置づけ、当院の分担する医療機能としては地域のかかりつけ医の後方支援病院として、急性期を担当してまいりました。当院地域医療連携室の設置から約8年間の経過し、本年5月23日付で愛媛県知事から地域医療支援病院として承認されました。昨年、当院では第1回目の地域医療連携フォーラムを開催し、1,000人を越える方にご参加いただきました。本年も昨年に引き続き、急性期、回復期、維持期、在宅のそれぞれ

の役割を担う医療機関、施設が効果的に連携を行い、地域医療の充実強化を図るため、標記フォーラムを下記のとおり開催することといたしました。今回のフォーラムでは諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生を講師としてお迎えいたします。本フォーラムが地域住民の皆様にかかりつけ医をもつことの重要性、在宅医療を含めた地域医療連携の利点をご理解いただく機会になればと考えております。多くの方のご参加をお待ちしております。

### 記

- 日 時：平成17年7月16日(土) 14時～16時30分
- 場 所：松山市民会館大ホール
- 入場料：無料(どなたでもご参加いただけます)

### 《プログラム》

#### 第一部：地域医療連携の現状について

- ◆医療連携の現状(事例発表4題)

#### 第二部：基 調 講 演

- ◆諏訪中央病院 名誉院長 鎌田 實 先生

#### 【鎌田 實(かまたみのる)先生のご経歴】

1948年、東京都生まれ。  
1974年、東京医科歯科大学 医学部卒業。  
長野県の諏訪中央病院で地域医療に携わる。1988年～2001年、同病院の院長。  
チェルノブイリ原発事故の救済活動にも参加し、ベラルーシ共和国 フランチェスカ・スコリヌイ勳章受章。  
2000年、「がんばらない」がベストセラーになり、TBSでドラマ化、西田敏行、信賞美津子 主演。  
2003年、続編「あきらめない」刊行。

### 市内電車(環状線)時刻表

赤十字病院前 平和通・上一万方面							赤十字病院前 鉄砲町・清水町方面							
6	52						6	49	59					
7	02	12	22	32	42	52	7	09	19	29	39	49	59	
8	02	12	22	32	42	52	8	09	19	29	39	49	59	
9	02	12	22	32	42	52	9	09	19	29	39	49	59	
10	02	12	22	32	42	52	10	09	19	29	39	49	59	
11	02	12	22	32	42	52	11	09	19	29	39	49	59	
12	02	12	22	32	42	52	12	09	19	29	39	49	59	
13	02	12	22	32	42	52	13	09	19	29	39	49	59	
14	02	12	22	32	42	52	14	09	19	29	39	49	59	
15	02	12	22	32	42	52	15	09	19	29	39	49	59	
16	02	12	22	32	42	52	16	09	19	29	39	49	59	
17	02	12	22	32	42	52	17	09	19	29	39	49	59	
18	02	12	22	32	42	52	18	09	19	29	39	49	59	
19	02	12	22	32	42	52	19	09	19	29	39	49	59	
20	02	12	22	32	42	52	20	09	19	29	39	49	59	(函)
21	02	12	22	42			21	09	19	(函)	29	49		
22	02						22	19	(函)	43	(函)			

(函)…否町止り

